

宮城県・宮城県警察と高齢者事故防止チラシを作成

～事故多発交差点 8年連続ワースト1の六丁目交差点で啓発活動も実施～

日本損害保険協会東北支部（委員長：黒田 伸哉・損害保険ジャパン株式会社執行役員東北・北海道担当）は、宮城県および宮城県警察と連携して高齢歩行者・運転者向けの事故防止チラシを作成し、両者に計 60,000部を提供するとともに、12月19日（月）に宮城県内の事故多発交差点 8年連続ワースト1の「六丁目交差点」において啓発活動を実施しました。

宮城県および宮城県警察とは、2020年度に交通事故防止等に関する三者協定を締結しており、高齢者および自転車の事故防止を柱に据え、連携して取り組みを進めています。今回提供した事故防止チラシは、県内各署で実施している高齢者宅訪問や、各市町村における出前講座および街頭イベント等で活用いただくこととしています。

また、毎年年末に実施している街頭啓発活動について、今回は宮城県内の事故多発交差点 8年連続ワースト1の「六丁目交差点」で行いました。当日は宮城県および宮城県警察のほか、東北地方整備局仙台河川国道事務所からも初めて参加があり、事故が多くなる夕暮れ時の時間帯に、注意喚起ボードの掲出や事故防止チラシの配布を通じて、関係者全員で注意を呼びかけました。

当支部では引き続き、宮城県および宮城県警察等と連携し、事故防止・軽減に向けた取り組みを推進していきます。



高齢者事故防止チラシ
（左：表面、右：裏面）



生駒事務局長からの挨拶



啓発チラシを配る
和田消費者部会長



交差点での啓発の様子

街頭啓発活動の当日は、河北新報社の取材があり、後日報道されました。チラシのPDFは以下からご覧いただけます。

https://www.sonpo.or.jp/news/branch/tohoku/2022/pdf/20230124_chirashi.pdf